

○財務省告示第二百五十五号

個人向け国債の発行等に関する省令（平成十四年財務省令第六十八号）第四条第十四項の規定に基づき、平成二十一年七月十五日に発行した個人向け国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十一年七月二十八日

財務大臣 与謝野 馨

一	名称及び記号	個人向け利付国庫債券（変動・十年）（第二十七回）
二	発行の根拠法律及びその条項	特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項
三	振替法の適用等	社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。
四	発行額	額面金額で四百三十二億千七百一十万円
五	最低額面金額	一十万円
六	振替単位	振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。
七	発行日	平成二十一年七月十五日
八	発行価格	額面金額百円につき百円
九	初期利率の適用利率	年〇・七三パーセント
十	第二期以後の利率の適用利率	年当たり、各利払期における利子計算期間開始日前行われた発行から償還までの期間が九

十一 初期利子

年五か月超の十年利付国債の直  
近における入札（当該開始日の  
属する月に行われた入札を除く  
）。この結果に基づき算出された  
複利利回りから、 $0.80$ パー  
セントを控除した率 $0.5$ パーセン  
トを下回るときは、その率は $0$   
・ $05$ パーセントとする。  
平成二十二年一月十五日を支払  
期とし、次の算式により算出し  
た金額を支払う。ただし、支払  
期が銀行休業日に当たるときは  
、その翌営業日に支払う（以下、  
次号及び第十三号において規定  
する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額} \times \frac{0.73}{100} \times \frac{1}{2}$$

十二 第二期以後の利子

毎年七月十五日及び一月十五日  
を支払期とし、各支払期におい  
て、その日以前六月間に属する  
利子として、次の算式により算  
出した金額を支払う。

$$\text{額面金額} \times \frac{\text{第十号に規定する第二期以後の利子の適用利率}}{100} \times \frac{1}{2}$$

十三 償還期限  
十四 償還金額  
十五 払込期日  
十六 払込場所  
十七 中途換金  
の取扱い

平成三十一年七月十五日  
額面金額百円につき百円  
平成二十一年七月十五日  
日本銀行の本店又は支店  
中途換金の買取りは、平成二十  
二年七月十五日以後に行

十八 中途換金の特例

うこととし、その買取金額は、次の算式により算出した金額とする。

額面金額 + 溢利に相当する金額 - (買入取付の直前の利率に支払期に支払われた利率に相当する金額  $\times \frac{80}{100}$  + その直前の利率に支払期に支払われた利率  $\times \frac{80}{100}$ )

前号による取扱いのほか、個人向け国債を有する者(相続税法(昭和二十五年法律第七十三号)第二十一条の四第一項に規定する特別障害者扶養信託契約の受益者を含む。)が、死亡したときに、その相続人が、又はその居住する市町村(特別区を含む)、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百五十二条の十九第一項の指定都市にあつては、当該市又は当該市の区とする。)の区域において、災害救助法(昭和二十二年法律第百十八号)による救助が行われる災害が発生し、当該災害にかつたとき、当該個人向け国債を有する者が、平成二十二年七月十五日前であつても、当該個人向け国債の中途換金を請求することができるものとし、その買取金額は、次の区分に応じ、

それぞれの算式により算出した金額とする。

(一) 平成二十二年一月十五日から平成二十二年七月十五日前までの間の場合

$$\begin{aligned} & \text{貸付金額} + \text{経過利子に相当する} \\ & \text{金額} - \left( \text{初期利子に相当する} \right. \\ & \left. \times \frac{80}{100} + \text{経過利子に相当する} \right) \end{aligned}$$

(二) 平成二十二年一月十五日前の場合

$$\begin{aligned} & \text{貸付金額} + \text{経過利子に相当する} \\ & \text{金額} - \text{経過利子に相当する} \end{aligned}$$

十九

元利金支  
払場所

日本銀行